



加古川市の魅力ある水辺空間の創出を応援します！

R2.12.21

～加古川市主催「かまちづくり・ミズベリング市内勉強会」が開催～

～姫路河川国道事務所～

12月21日(月)加古川市主催による、河川敷に新たな賑わいを創出するためのかわまちづくり・ミズベリングに関する勉強会が加古川市の幹部職員を対象に開催されました。講師の方には、当日の現地視察を踏まえ、かわまちづくり事業の魅力や、官民連携による取組の必要性や進め方についてご講演頂き、参加者らは加古川市の「魅力ある水辺空間の創出」について学びました。姫路河川国道事務所は、講師の派遣調整を行うとともに勉強会に参加しました。今後も水辺に賑わいを創出するために連携して取り組んでいきます。

概要

- 開催日時：令和2年12月21日(月) 14:00～
- 場所：加古川市民会館 大会議室
- 参加者：加古川市長、副市長、他職員
近畿地方整備局河川環境課
姫路河川国道事務所 計約70名
- 講師：国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課
河川環境保全調整官 波多野真樹氏
株式会社水辺総研 代表取締役
ミズベリングディレクター 岩本唯史氏

開催の挨拶



勉強会の様子



- かわまちづくりの登録件数は年々増えており、それぞれの地域の特性を生かした水辺空間の利活用が進んでいる。
- 民間事業者との連携により水辺に新たな賑わいが生まれ、観光スポットとして盛り上がっている事例もある。

- せっかく作った公共施設が使われないのは、そもそも「つくる人」と「使う人」が違うため。公共空間を利用するには様々なハードルが存在しており、水辺のまちづくりは官民で連携して取り組まないといけない。

参加者の主な意見

- 加古川の河川敷で女性がお昼からお酒を楽しめるような空間・施設があってもいいと思う。
- 堤防があり、町側から川が直接見えないため、川に近づくという気持ちがなかなか起きない。何か楽しい仕掛けがあれば川に近づく人も増えると思う。
- 民間の商業施設等が川に背を向ける形で立地しているが、川側でイベント等を実施し、アクセスがよくなれば川側も盛り上がってくると思う。

質疑応答の様子



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947 姫路市北条1-250 TEL 079-282-8211

